

一般送配電事業の2022年度供給計画について (需要想定・需給バランス、送変電設備の整備計画)

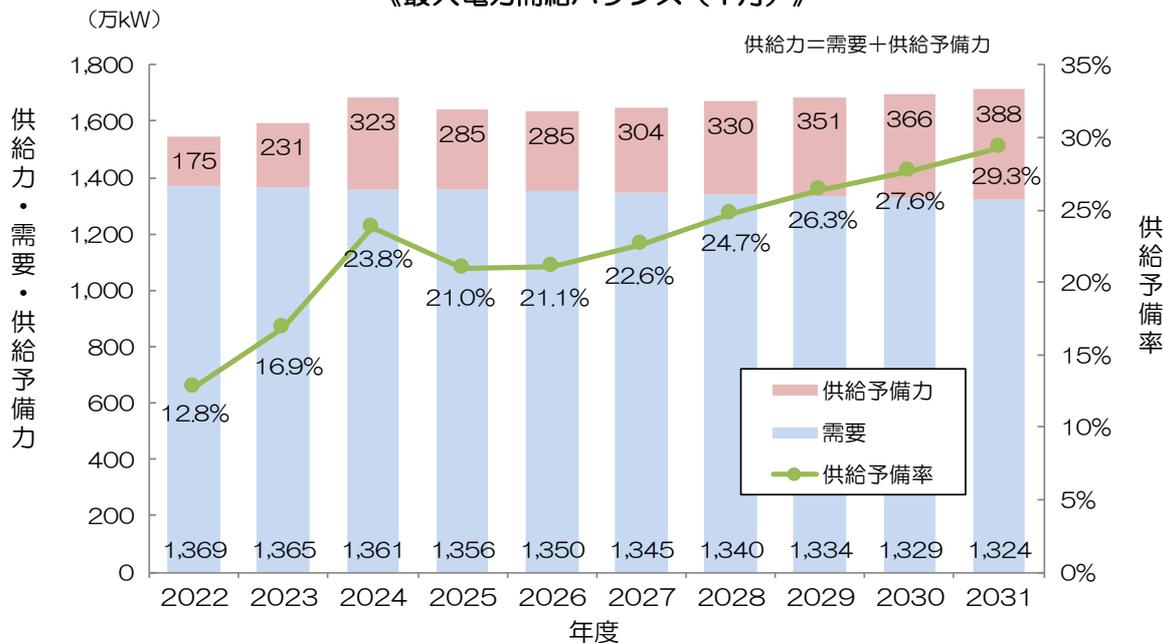
本日、電力広域的運営推進機関より、当社を含む各電気事業者から届出された今後10年間の供給計画^{*1}を取りまとめた「2022年度供給計画の取りまとめ」が公表されました。

【需要想定・需給バランス】

この中で、東北6県と新潟県エリアにおける最大需要発生時^{*2}の電力需給バランスは、向こう10年間において、安定供給の目安となる供給予備率8%以上を超える見通しです。

なお、発電・小売電気事業者の動向により必要な供給力が不足するおそれがある場合には、電力広域的運営推進機関などと連携し、適切に対応してまいります。

《最大電力需給バランス（1月）》



【送変電設備の整備計画】

当社は、2022年3月25日に一般送配電事業の供給計画を届出しております。

今回の供給計画では、地域的な電力需要の増加見通しを踏まえた東花巻変電所変圧器増設と、北海道本州間連系設備に係る広域系統整備計画^{*3}の一環である今別幹線増強を新規に計上いたしました。

その他、送変電設備の整備計画の概要については、別紙のとおりです。

当社は引き続き、東北6県および新潟県エリアの一般送配電事業を担う会社として、エリアにおける電力の安定供給に努めるとともに、「東北電力グループ“カーボンニュートラルチャレンジ2050”」の実現に向け取り組んでまいります。

以上

※1 供給計画

- 供給計画は、今後10年間の電力需要の見通しや電力需給の計画等を取りまとめたもので、電気事業法第29条に基づき、計画対象年度の前年度末までに、広域機関を経由して経済産業大臣に届出を行うことが求められております。
- 小売全面自由化が実施された2016年4月1日以降は、発電・小売・送配電の電気事業者毎（ライセンス毎）に届出を行うこととなっております。当社は、一般送配電事業と発電事業のライセンスを取得しております。
- 発電事業の2022年度供給計画は、2022年3月1日に届出を行っております。（2022年3月1日プレスリリース済み）

※2 近年の実績から、東北6県と新潟県エリアの年間最大需要は1月に発生するものと想定。

※3 北海道胆振東部地震を踏まえた北海道エリアの安定供給や再生可能エネルギーの更なる導入拡大を目的に、電力広域的運営推進機関が策定した送変電設備の整備計画。

（別紙）2022年度供給計画における送変電設備の整備計画の概要

2022年度供給計画における送変電設備の整備計画の概要

【主要送電線路の整備計画】

件名	設備概要	着工年月	使用開始年月
広域連系北幹線 新設 ^{※1}	500kV 79km	2022年8月	2027年11月
広域連系南幹線 新設 ^{※1}	500kV 64km	2024年8月	2027年11月
相馬双葉幹線 接続変更 ^{※1}	500kV 16km	2022年3月	2025年11月
新地アクセス線 広域連系開閉所引込 ^{※1}	500kV 1km	2024年2月	2026年6月
常磐幹線 広域連系開閉所引込 ^{※1}	500kV 1km	2024年5月	2026年7月
広域連系開閉所 新設 ^{※1}	500kV 10回線	2022年9月	2027年11月 ^{※5}
秋田幹線 河辺変電所引込 ^{※2}	275kV 5km	2023年度以降	2029年度以降
秋盛幹線 河辺変電所引込 ^{※2}	275kV 0.3km	2025年度以降	2029年度以降
朝日幹線昇圧 ^{※2}	275→500kV 138km	2027年度以降	2030年度以降
南山形幹線昇圧 ^{※2}	275→500kV 23km	2030年度以降	2030年度以降
出羽幹線新設 ^{※2}	500kV 96km	2022年4月	2031年度以降
山形幹線 昇圧延長 ^{※2}	275→500kV 103km	2026年度以降	2031年度以降
A 発電所支線新設 ^{※3}	275kV 3km	2021年4月	2022年12月
B 発電所支線新設 ^{※3}	275kV 0.2km	2023年4月	2024年5月
秋田県北部HS線新設	275kV 0.3km	2023年5月	2024年12月
今別幹線増強 ^{※4}	275kV 50km	2023年4月	2027年度

※1 「東北東京間連系線に係る広域系統整備計画」関連工事。ただし、送電線および開閉所の名称は仮称。

※2 「東北北部エリア電源接続案件募集プロセス」の入札対象工事。

※3 電源接続に係る工事。他社申込に伴う送電線新設工事のため、名称を符号化。

※4 新規計上。「北海道本州間連系設備に係る広域系統整備計画」関連工事。

※5 2026年6月一部使用開始。

【主要変電所の整備計画】

件名	設備概要	着工年月	使用開始年月
東花巻変電所 増設①※1	275/154kV 300MVA 1台	2023年 1月	2025年 10月
東花巻変電所 増設②※2	275/154kV 300MVA 1台	2023年 5月	2027年 2月
岩手変電所 増設※3	500/275kV 1,000MVA 1台	2024年度以降	2028年度以降
越後変電所 新設※3	500/275kV 1,500MVA 3台	2024年度以降	2030年度以降
八幡変電所 新設※3	500/154kV 750MVA 1台	2026年度以降	2031年度以降
河辺変電所 新設※3	500/275kV 1,500MVA 3台	2024年度以降	2031年度以降※4
西山形変電所 昇圧増設※3	500/154kV 450MVA 2台	2024年度以降	2031年度以降※5

※1 需要増加に係る工事。

※2 新規計上。需要増加に係る工事。

※3 「東北北部エリア電源接続案件募集プロセス」の入札対象工事。

※4 2029年度以降一部使用開始。

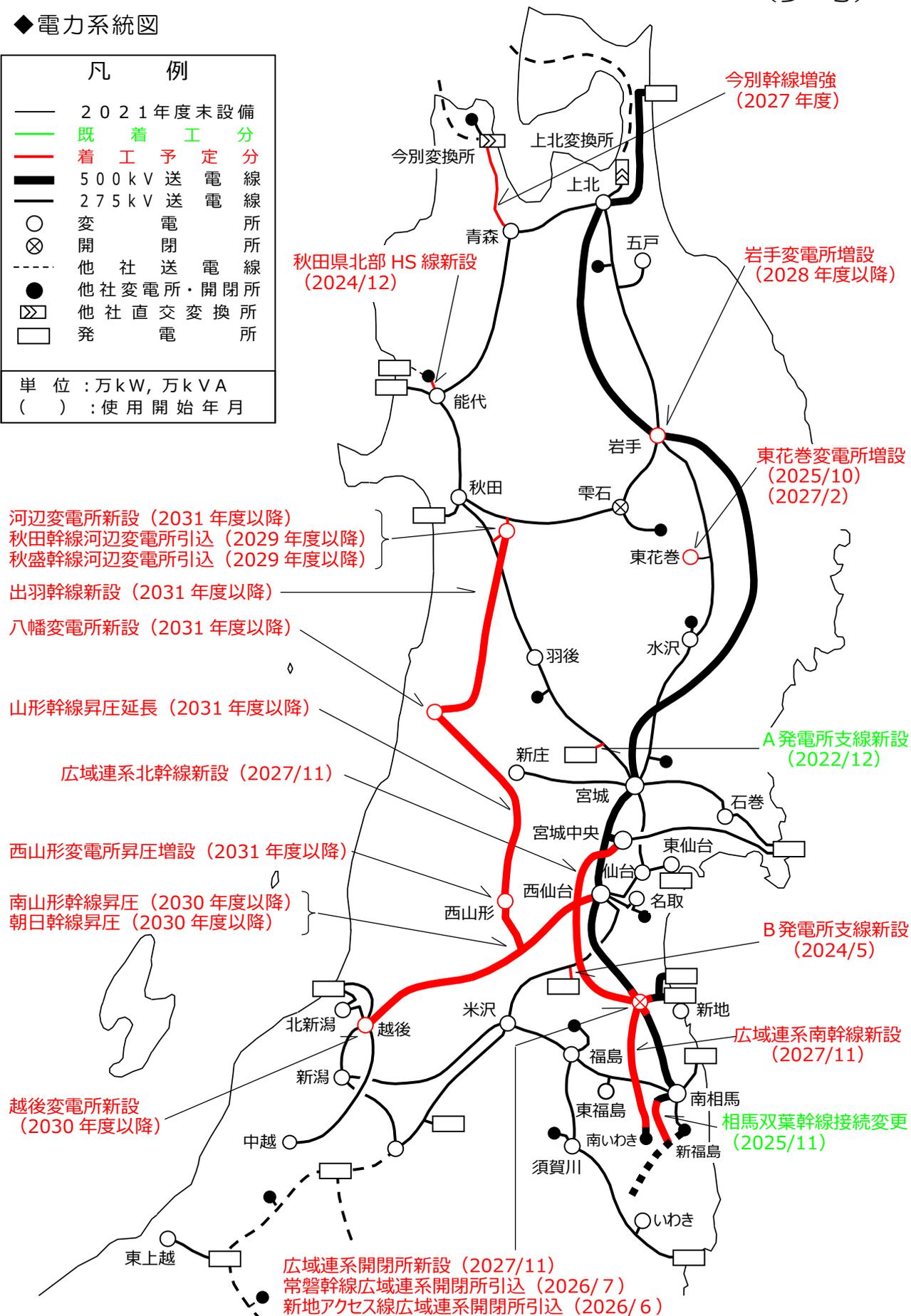
※5 2030年度以降一部使用開始。

(参考)

◆電力系統図

凡 例	
—	2021年度未設備
—	既 着 工 分
—	着 工 予 定 分
—	500kV送電線
—	275kV送電線
○	変電所
⊗	開閉所
---	他社送電線
●	他社変電所・開閉所
⊞	他社直交変換所
□	発電所

単 位 : 万kW, 万kVA
() : 使用開始年月



河辺変電所新設 (2031年度以降)
秋田幹線河辺変電所引込 (2029年度以降)
秋盛幹線河辺変電所引込 (2029年度以降)

出羽幹線新設 (2031年度以降)

八幡変電所新設 (2031年度以降)

山形幹線昇圧延長 (2031年度以降)

広域連系北幹線新設 (2027/11)

西山形変電所昇圧増設 (2031年度以降)

南山形幹線昇圧 (2030年度以降)
朝日幹線昇圧 (2030年度以降)

越後変電所新設 (2030年度以降)

広域連系開閉所新設 (2027/11)
常磐幹線広域連系開閉所引込 (2026/7)
新地アクセス線広域連系開閉所引込 (2026/6)

今別幹線増強 (2027年度)

岩手変電所増設 (2028年度以降)

東花巻変電所増設 (2025/10)
(2027/2)

A 発電所支線新設 (2022/12)

B 発電所支線新設 (2024/5)

広域連系南幹線新設 (2027/11)

相馬双葉幹線接続変更 (2025/11)